



TDA 第 11 期定例総会記念イベント

『景観デザインフォーラム』

～街路の景観デザインと公共空間としての利活用～

(第6回 景観デザイン交流会)

TDAでは、これまで景観アドバイザー・サミットと景観アドバイザー交流会、韓日都市デザイン交流会などを計5回開催し、地方自治体の景観事前協議や特定な地区の景観形成などにおいて委員やアドバイザーとしてこのプロセスに係わっている専門家と自治体担当者に集ってもらい、景観形成における景観事前協議の役割と取り組みの実情を明らかにするとともに、その課題と可能性について議論し、景観づくりに取り組む行政担当者や専門家の情報交換や交流の場を提供してきました。

今回は、TDA定例総会の記念イベントとして、景観デザインに関わる幅広い方々との意見交換の場となるよう「景観デザインフォーラム」と題して開催いたします。

- 日 時：2016年11月12日(土) 14:30～16:30
- 会 場：台東区立浅草文化観光センター5階大会議室
(東京都台東区雷門二丁目18番9号)
- 参加費：無料
- 主催：NPO法人 景観デザイン支援機構 (TDA)

●プログラム (予定)

1) 事例報告

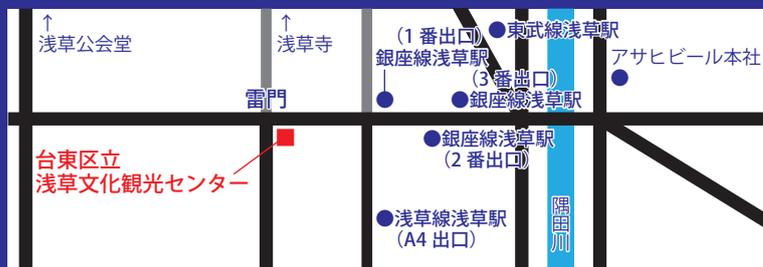
- 泉山 塁威 (明治大学理工学部 助教 / (一社) パブリック・プレイス・パートナー 共同代表理事)
- 廣瀬 健 (㈱日本設計)
- 中野 竜 (TDA正会員 / ㈱コトブキ)

2) パネルディスカッション

- コーディネーター：倉田 直道
(TDA副代表理事 / 工学院大学 名誉教授)
- パネリスト：泉山 塁威、廣瀬 健、中野 竜

- 申込はメールで事務局まで (メール：main@tda-j.or.jp)
※会場に定員がございますので、事前申込をお願いいたします。
- 懇親会も予定しております (会費3,500円程度)
※懇親会参加希望者は申込必須です。

◆会場案内



街路は街並みに代表されるように、人々が都市の景観（街並み）を体験する場であり、その街並みはその都市の歴史や成り立ちを表出したまちの顔となっていることも少ない。一方で、車社会の急激な進行とともに、街路は車の移動空間となり、歩行者は街路の脇に追いやられ、街並みも車社会を象徴するような沿道景観へと変容してきた。しかし、近年、過度な車社会の弊害を目の当たりにするようになり、歩行者の復権が叫ばれるようになってきている。これは世界的な動きでもあり、単に歩行者の復権にとどまらず、都市における主要な公共空間としての街路の再評価とパブリックライフの場としてのその積極的な利活用への取り組みが始まっている。我が国においても、道路占用基準の緩和、道路空間の多機能化・オープン化、ストリートマネジメントなどの検討が進められ、各地において社会実験を含む、実践的な取り組みが始まっている。これらの取り組みは、単なる表層のお化粧的な景観デザインを超えた、これからの時代の街路の景観デザインと位置づけることができる。

本フォーラムでは、そうした街路空間の積極的な利活用に向けての取り組みの現状を明らかにするとともに、その課題と展望を議論する。